

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、北京五輪・パラリンピックが開催され、日本選手団が冬季五輪において過去最多 18 個のメダルを獲得するなど、年明けから歓喜に包まれました。しかしそのような喜びも束の間、2月24日、ロシア・プーチン政権によるウクライナ侵攻が開始されるという、世界の安全保障、その秩序の維持における深刻な局面を目の当たりにすることとなり、国内にも大きな衝撃がもたらされました。

新型コロナウイルスはデルタ株からオミクロン株、そしてオミクロン株の派生型へと様々に変異を続けながら幾度も感染のピークを迎え、現在の第8波に至っています。

続くコロナ禍、そしてリアルタイムに戦争の状況が報道される日々に、私たちは誰しも否応なくあたりまえの日常の有難さ、その大切さを実感したのではないのでしょうか。

「日々の生活の大切さ」

昨年は法人として徹底した感染防止対策を継続しつつ、「ウイズコロナ」の観点にたち、各施設、事業所では様々な制限を少しずつ緩和しながら日常生活を取り戻すことに努めました。ご利用者が楽しみにしている行事やWEBを活用してののど自慢大会やおやつ選手権などの事業所合同行事や地域交流の再開。外泊帰省や外出では保護者の方々に感染防止や体調管理に多くのご協力をいただきました。ご利用者の笑顔は私たちを支え、介護のやりがいや喜びを再認識させてくれました。また、科学的介護推進体制加算という利用者様の状態を数字データで国に報告していくシステムの導入をさせて頂いたり、一部ではありますが、眠りスキャンというベッドでの心拍、体動、呼吸状態を自動的に記録検知するシステムの導入もさせて頂きました。徐々にではありますがICTの導入によるサービスの質の向上とケアの負担軽減を実施させて頂きました。

職員様にも年初にコロナによる対応による苦勞に感謝の言葉を伝えさせて頂き、ともに助け合いポジティブな影響を与え合うことの大切さと、ともに困難を乗り越えて経営理念である「今ここ、しあわせ」の瞬間を一つでも多く創っていかうと強い信念をもってお伝えさせて頂きました。「あったかく、明るく、人の心に寄り添う」そんな我々のあったかの心をこれからも大切にしていきます。

今年もご利用者のあったかく明るい安全・安心な生活の維持、加えて夢や希望を叶える暮らしの実現、および職場環境の更なる改善に向け、具体的行動につなげて取り組んでいく所存ですので、ご家族様・関係者の皆様には一層のご指導をいただきたく、何卒よろしく願い申し上げます。

株式会社あったかホーム
代表取締役 加藤 拓